

IR導入検討基礎調査報告書 (概要版)

平成27年1月
千葉県

はじめに

【調査の目的】

我が国における I R（統合型リゾート）導入に向けて様々な動きがあるが、I R導入にあたっては経済効果や課題等を整理し地域住民との合意形成を図ることが重要である。

また、I Rの導入に向けては地域の特性を生かした I R施設の具体的なイメージの検討が必要となる。

以上を踏まえ、市町村における I R導入の検討に資するよう、I R導入に伴う効果や影響、各自治体に取り組むべき事項、本県の特性を生かした具体的な I Rのパターンについて調査を行ったものである。

はじめに

【 I Rとは】

カジノ施設および会議場・展示場施設、レクリエーション施設、宿泊施設、その他の観光の振興に寄与すると認められる施設が一体となった施設をいう。（ I R推進法案上の定義）

【 I Rへの期待】

- ・ 観光客等の集客を可能にし、地域経済を活性化する。
- ・ クールジャパン戦略に資する。
（日本の伝統文化・観光等の魅力を国内外に広く発信）

報告書(概要版)の構成

1 IR推進法案について

2 IRについての整理

- (1) 世界のIRの先進事例
- (2) IR事業者が求めるIR整備区域の視点
- (3) IR導入による経済効果
- (4) IR導入に伴う負の影響と各国の対応状況等
- (5) 行政機関がIR事業者を選定するにあたっての留意点
- (6) IR導入に関し、行政機関に求められる役割

3 IR導入にあたっての千葉県の特性・課題の整理

- (1) 地政学的特性
- (2) 歴史的特性
- (3) 活用できる地域資源
- (4) 観光等における課題

4 千葉県で想定されるIRのパターン

1 IR推進法案について

○国会における動き

2013年12月：衆議院に提出

2014年 6月：衆議院において審議入り

2014年11月：衆議院解散により廃案

○IR推進法案の骨子

- 第一 目的
- 第二 定義
- 第三 基本理念
- 第四 国の責務
- 第五 法制上の措置等
- 第六 特定複合観光施設区域の整備の推進に関する基本方針
- 第七 カジノ管理委員会の基本的な性格及び任務
- 第八 納付金等
- 第九 特定複合観光施設区域整備推進本部

2 IRについての整理

(1) 世界のIRの先進事例

【施設の特徴】

観光資源等の集客要素が無い地域に、カジノを含む大規模な複合施設を建設し、強い集客力を持つエリアを創出

観光地・保養地等の既存集客エリアに、カジノ・MICE施設の一部を加えて、エリアの魅力づけを行った

外貨獲得を狙いに、外国人にターゲットを絞り、アクセスの良さを重視した

中心市街地におけるエンターテインメントの一つとしてカジノを単独設置
(周辺一帯と併せてのIRと捉える)

【選定事例】

① マリーナ・ベイ・サンズ
(シンガポール)

(参考) ④ カンウォンランド(韓国)
⑤ マカオ(中国)

② グランド・カジノ・ベルン
(スイス)

③ パラダイス・カジノ・
インチョン(韓国)

⑥ ハード・ロック・カジノ

2(1)世界のIRの先進事例

① マリーナ・ベイ・サンズ(シンガポール)



項目	内容
特徴	インバウンドの大幅増加を狙いとして、世界最大規模を誇るカジノに大型MICE施設、大型高級ホテル、テーマパーク(近未来型植物園)等を加えた大型複合施設(2010年開業) [建設・運営]米国ラスベガス・サンズ社

2(1)世界のIRの先進事例

① マリーナ・ベイ・サンズ(シンガポール)

項目	内容
施設	カジノ、ホテル、多目的展示場・会議施設、シアター&ミュージアム、商業施設
立地条件	チャンギ国際空港から車で20分、地下鉄で45分
業績	年間入場者:1,960万人(うち、外国人70%) 年間収入:約2,900億円 [内、カジノ業績] 年間利用者数:約900万人 年間収入:約2,300億円 一人当たり単価:26千円
総合評価	国策の一環としてIR導入に取り組み、観光収入の大幅増加や雇用創出、税収増等の大きな経済効果が見られる。 一方、ギャンブル依存症等の社会問題も発生しており、入場排除規制の強化等の対策が講じられている。

2(1)世界のIRの先進事例

② グランド・カジノ・ベルン(スイス)

項目	内容
施設	カジノ、ホテル、会議場、レストラン
立地条件	ベルン国際空港から車で15分 (チューリッヒ・ジュネーブ国際空港からは車で約2時間)
カジノ業績	年間利用者数:約29万人(うち、外国人34%) 一人当たり単価:22千円 年間収入:63億円
総合評価	周辺の歴史ある街並みと都会的ホテルとが調和しながら、大人の社交場として、カジノによるエンターテインメントを提供し、ベルンの魅力アップに貢献している。 一方、ギャンブル中毒患者も存在し、入場禁止措置等の対策が講じられている。

2(1)世界のIRの先進事例

③ パラダイス・カジノ・インチョン(韓国)



項目	内容	容
特徴	外貨獲得を目的に、アジアのハブ空港であるインチョン国際空港に近接して立地している高級ホテル内設置した外国人専用カジノ [運営]パラダイス・グループ	

2(1)世界のIRの先進事例

③ パラダイス・カジノ・インチョン(韓国)

項目	内容
施設	カジノ、ホテル、コンファレンスルーム
立地条件	インチョン国際空港からシャトルバスで3分、ソウルまで車で40分
カジノ業績	年間利用者数:約38,000人(外国人のみ) 年間収入:75億円 一人当たり単価:196千円
総合評価	入場者数は少ないものの一人あたり粗収益は極めて高く、外国人富裕層をターゲットとした外貨獲得効果がある。 一方、カジノ単体施設のため集客要素が弱く、地域全体の振興に資しているとは言い難い面がある。

2(1)世界のIRの先進事例

④ カンウォンランド(韓国)

項目	内容
施設	カジノ、ホテル、コンドミニアム、コンベンション施設、小規模ショッピングモール、シアター
立地条件	ソウルから車で約4時間(山間部に立地) スキー場やゴルフ場等を有するリゾート地帯
カジノ業績	年間利用者数:309万人(99%が自国民) 年間収入:1,253億円 一人当たり単価:41千円
総合評価	税収増や雇用創出等、経済面での地域振興に貢献している。 一方、ギャンブル依存症やホームレスの増加、治安の悪化等による地域環境悪化に伴い、地域からのファミリー層や学生などの人口流出を招いている。

2(1)世界のIRの先進事例

⑤ マカオ(中国)



項目	内容
特徴	30,000㎡クラスの大規模カジノやホテル、エンターテインメント施設が複数集積している、世界最大級のIR開発エリア [運営]サンズ・チャイナ、ギャラクシーグループほか

2(1)世界のIRの先進事例

⑤ マカオ(中国)

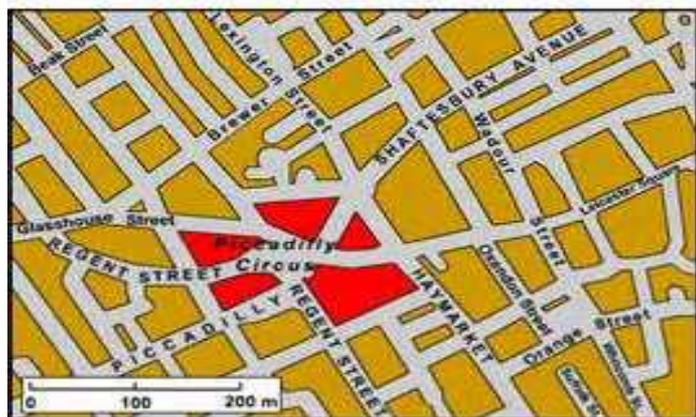
項目	内容
施設	カジノホテル (ベネチアン・マカオ、プラザ・マカオ、サンズ・コタイ・セントラル等) 国際会議場、劇場、ショッピングセンター等
立地条件	香港国際空港からフェリーで45分 マカオ国際空港から車で40分 (北部のマカオ半島と南部のコタイ地区に集積)
カジノ業績	年間収入:2兆6,900億円
総合評価	ラスベガスを凌ぐ粗収益を上げ、税収効果や雇用効果等の大きな経済効果をもたらしている。 一方、治安の悪化や反社会的勢力の業界関与など社会的コストへの対応が十分検討のうえ実施されてきているとは言い難い面がある。

2(1)世界のIRの先進事例

⑥ ハード・ロック・カジノ(英国)



ピカデリー・
サーカス



項 目

内

容

特徴

ロンドン最大の商業集積地の一角にあり、映画館やミュージカル劇場、ダンスクラブ、高級ホテル等が周囲にある中で、歴史的建造物である劇場の内装をリニューアルしてカジノ単独で開業

2(1)世界のIRの先進事例

⑥ ハード・ロック・カジノ(英国)

項目	内容
施設	カジノ
立地条件	ヒースロー国際空港から電車で20分 ロンドンの一大中心地の「ピカデリー・サーカス」のソーホー地区に立地
カジノ業績	年間利用者数: 200,000人 年間収入: 52億円 一人当たり単価: 26千円
総合評価	都市部の中心街という集客エリアにカジノ単独を設置し、大人の社交場として街全体の魅力向上に貢献している。 一方、既存の街並みとの調和を前提としているため、飛躍的な集客力アップを狙った施設とはなりにくい。 また、ギャンブル中毒患者も存在し、啓発等の対策が講じられている。

2(2)IR事業者が求めるIR整備区域の視点①

ア アクセシ性

- ・アクセスの利便性という点では国際空港から当該IR施設までの所要時間が重要である。

イ 商圈

- ・IR施設周辺に多くの富裕層がいることが望ましい。
- ・施設は、周辺地域住民等多数の一般客の利用も想定される。
- ・IR施設周辺には相応の商圈人口が存在することが重要である。

ウ 敷地立地条件

- ・マリーナベイサンズと同規模の場合、約16万m²の土地が必要となる。
- ・IR施設の事業用途が法令上の土地利用制限に触れないこと。
- ・鉄道、道路等のアクセス整備が重要である。

エ 宿泊施設

- ・滞在客の受け皿となるホテルは必須である。
- ・当該地区に既存ホテルが存在する場合、IR施設建設の投資抑制につながる事が期待できる

2(2)IR事業者が求めるIR整備区域の視点②

オ 観光資源

- ・インバウンドの増加を実現するためには、新たなIR施設を魅力ある施設内容とし、集客力を生み出すことが一つの手段である。
- ・IR事業者にとっては、観光資源の有無は進出可否判断に影響を与えることが推察される。

カ 外国人観光客の受け入れ態勢

- ・外国人旅行客のストレスフリーに向け、外国語対応能力向上等高質のサービス提供が必須である

キ 税率の設定

- ・事業者に対する適切な税率の設定について十分な検討が必要である。

2(3)IR導入による経済効果

ア 海外事例における経済効果の捉え方

- ・ I R開発による経済効果は、I R開業前・後の2種に大別される。

〔開業前効果〕 建設投資、建設による雇用

〔開業後効果〕 観光収入、I R運営事業収入、税金、事業雇用

イ シンガポールの例

- ・ 開業前

【累計】 約8,000億円（2005年～2010年までの累積建設投資額）

雇用創出効果：（2005年）約2,300千人→（2010年）約3,100千人

- ・ 開業後

【単年】 約3,330億円（2010年）内訳

- ・ 観光収入＝約 150億円
- ・ 事業収入＝約2,300億円
- ・ 税金効果＝約 880億円

事業雇用＝約9,000人（I R施設の直接雇用）

2(4)IR導入に伴う負の影響と各国の対応状況等

【社会コストと対応策の体系】

《 対応策 》

ア. カジノによる
犯罪リスク

(ア) 経営に係る犯罪

厳格なライセンス
制度の運用

(イ) いかさま等の
不正行為

不正利用の情報収集

監視の強化

(ウ) マネーロンダリング

取引状況の監視

イ. ギャンブル
依存症リスク

啓発活動による注意喚起

システム的入場規制

支援機関の設置・連携

ウ. 青少年への
悪影響リスク

啓発活動による注意喚起

未成年者の入場規制

エ. 周辺環境への
悪影響リスク

治安の維持・管理

良好な生活環境の維持

2(5) 行政機関がIR事業者を選定するにあたっての 留意点①

IR事業者の選定にあたっては、IRが地域振興、財政支援、日本の魅力の発信に資するものであり、当該地域住民において受け入れられるものであるべきであるという観点を踏まえ、以下の条件に留意することが期待される。

ア 地域の連携状況

I R事業者の事業計画と地方自治体が目指す“まちづくり”の基本的な考え方や基本理念、行政方針との整合性がとれていることや、地域住民から理解が得られた事業者であることが大切である。

イ 地元への経済効果等

地域の財政支援に資するという観点から、I R運営に係る収入が地域のどの程度影響を及ぼすかを把握するため、I R施設の投資規模や経済効果、地域社会における貢献度などについて留意する必要がある。

2(5) 行政機関がIR事業者を選定するにあたっての 留意点②

ウ IR事業者の運営能力

事業者の選定にあたっては、世界各地での事業者のIR開発の動向や競争状況を把握したうえで、実績・経験年数、資本力・資金調達力、法令遵守などの視点から事業会社の運営能力をチェックすることが重要である。

エ IR事業者の選定方法

公募プロポーザル方式に基づき、広く国際提案公募を募り、最適な民間事業者を選定する公正かつ透明な手順を制定することが重要である。

2(6)IR導入に関し、行政機関に求められる役割①

	役割	考え方・具体的な対応例
国	社会的関心事への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・暴力団組織の介入や犯罪の温床の排除 ・マネーロンダリングの防止 ・地域風俗環境悪化、公序良俗の乱れ防止 ・青少年への悪影響防止 ・ギャンブル依存症対策
	IRに関連する法律の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・カジノの事業推進のための実施法案を作成
	IR事業者の承認	<p>以下のチェックを経ての承認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治体によるIR事業者選定プロセス ・選定事業者の施設運営能力の有無 ・禁止事項(反社会的組織等)への抵触の有無
	カジノ事業者の規制・監視の仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・カジノ運営事業者を規制・監視するための組織設置 ・営業免許・ライセンスの付与、認可、監視、監督、違法行為の摘発

2(6)IR導入に関し、行政機関に求められる役割②

	役割	考え方・具体的な対応例
地方自治体	民間事業者の選定	<ul style="list-style-type: none"> ・公募に基づいて、IR整備・運営民間事業者を選定 ・国の対策を踏まえつつ社会コストを最小限に止めるための取り組み
	IR事業の基本構想の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・事業者に対する情報を収集の上、IR開発の基本コンセプトと事業化のための基本方針を明確化 ・IR導入による効果と懸念材料、それへの対応策、IR導入のための条件明確化を経て、最終的なIR導入可能性の検証
	地元住民との合意形成	<ul style="list-style-type: none"> ・IR誘致については、地域環境悪化やギャンブル依存症などの社会コスト増加が懸念される。 ・そのため、住民に対し十分に説明しIR誘致に対する住民の理解と合意を得ることが重要

2(6)IR導入に関し、行政機関に求められる役割③

	役割	考え方・具体的な対応例
国・地方自治体 共通	社会コストへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪リスクやギャンブル依存症等に対し、国と地方自治体が連携して取り組み、対策講じていく。
	カジノ関連税制、納付金制度、入場料等に向けた法整備	<ul style="list-style-type: none"> ・カジノの収益金の一部を国は税金・納付金として徴収でき、自治体も条例制定により徴収が可能 ・カジノの入場料の徴収においても法令の制定が条件となる。
	事業に係わるインフラの整備・支援と規制	<ul style="list-style-type: none"> ・各種インフラや地域環境の整備が必要 ・法令の制限に対し、各種法令の遵守が必須

3 IR導入に当たっての千葉の特性・課題の整理

(1) 地政学的特性

ア 首都東京に隣接	<ul style="list-style-type: none">・潜在マーケット(外国人観光客・首都圏人口)を有する。・東京と鉄道や幹線道路で結ばれ、来訪が容易である。・千葉県内へのIR立地は東京の発展に貢献。
イ 海外との結節点	<ul style="list-style-type: none">・日本の空の玄関口「成田国際空港」がある。
ウ 東京湾内航路	<ul style="list-style-type: none">・東京湾は、京葉工業地域として経済発展に貢献。・東京湾は、レジャーとしても活用。・海上交通(フェリー・物流航路)として活用。・観光資源として活用(景観、レストランクルーズ等)
エ 貴重な自然環境	<ul style="list-style-type: none">・三方を海に囲まれ、多くの海水浴場、サーフィンスポットあり。・貴重な自然環境が数多くある。(棚田・溪谷・里山等)・日常的空間(都心)の近くに非日常的空間(自然)あり。
オ 豊かな自然の恵み	<ul style="list-style-type: none">・農業、漁業が盛ん(出荷量全国一位の農産品目多し)・変化に富んだ漁場があり、全国有数の水産県。・しょうゆ生産量全国1位

3 IR導入に当たっての千葉の特性・課題の整理

(2) 歴史的特性

ア 著名な社寺の歴史	<ul style="list-style-type: none">・成田山新勝寺(300万人もの初詣客あり)・香取神宮(伊勢・鹿島と並ぶ格式の高い神社)・安房神社(神武天皇紀創建、産業創始の神を祭る)等
イ 著名な文化・文学・祭り等	<ul style="list-style-type: none">・文化人・文学者等(菱川師宣、国木田独歩、伊能忠敬)・文芸作品(南総里見八犬伝)・祭り・伝承芸能(佐原の大祭) 等
ウ 戦後の復興史	<ul style="list-style-type: none">・東京湾沿岸埋立等による京葉工業地域建設・東京のベットタウンとしての大規模宅地開発・人口増加に伴う、大規模レジャー施設の誕生・成田国際空港開港や幕張メッセ開業等による、海外との結びつきの強まり

3 IR導入に当たっての千葉の特性・課題の整理

(3) 活用できる地域資源①

エリア	特色
ベイエリア	<ul style="list-style-type: none">・常に集客力のある施設あり(TDR、幕張メッセ等)・文化教育施設が多い
東葛飾エリア	<ul style="list-style-type: none">・自然に親しむことのできる場(公園等)あり・特徴のある教育文化施設あり(鳥の博物館等)
北総エリア	<ul style="list-style-type: none">・日本の空の玄関口としての成田国際空港・有名な神社・仏閣(成田山新勝寺・香取神宮等)・特徴ある文化教育施設あり(国立歴史博物館等)

3 IR導入に当たっての千葉の特性・課題の整理

(3) 活用できる地域資源②

エリア	特色
九十九里 エリア	<ul style="list-style-type: none">・全長66kmにも及ぶ砂浜あり・アウトドアのレジャー・観光スポットが多い。
南房総エリア	<ul style="list-style-type: none">・長い海岸線を有する。・アウトドアのレジャー・観光スポットが多い。・観光誘客施設あり(鴨川シーワールド等)・自然を楽しむことのできるスポットあり
かずさ・臨海 エリア	<ul style="list-style-type: none">・コンセプトの異なるテーマパークが集積 (マザー牧場・東京ドイツ村・市原ぞうの国等)・全国有数のゴルフ場数を誇り、県内の2割弱が市原市に集積

3 IR導入に当たっての千葉の特性・課題の整理

(4) 観光等における課題

ア 人口減少・少子高齢化の進展

- ・ 千葉県の将来人口推計によると、県全体では2017年をピークに、以降減少が予想される。
- ・ 人口変動については地域格差があり、香取、海匝、山武、長生、夷隅、安房、君津地域は今後も人口減少が見込まれる。
- ・ 高齢者人口の割合は、特に夷隅、安房地域において高くなることが予想される。

3 IR導入に当たっての千葉の特性・課題の整理

(4) 観光等における課題

イ 観光振興に関する課題(第2次観光立県ちば推進基本計画(2014))

- ・ 観光は、様々な産業への波及効果が期待できる総合産業である。
- ・ 定住人口が減少する地域にあっては、国内外からの交流人口拡大によって地域経済の活性化を図る必要がある。
- ・ 多様なニーズへの対応が迫られる中、東京オリンピックの開催や成田空港の機能拡充という環境変化を見据え、千葉県の強み・資源を最大限に生かす観光振興を推進することが求められている。

[重要課題]

- (ア) ターゲットに応じた対応
- (イ) 首都圏からの観光ニーズへの対応
- (ウ) 安全・安心の確保とPR
- (エ) 東京オリンピック・パラリンピックを見据えた成田国際空港の活用
- (オ) 東京湾アクアライン・圏央道の活用
- (カ) ITC(Information & Communication Technology)の活用
- (キ) 新たな観光需要の開拓

4 千葉県で想定されるIRのパターン

- ・IRの導入にあたっては、地域の特性、課題等を踏まえた提案が重要である。
- ・千葉県は、外国人客の増加が見込まれる中、日本の玄関口として、伝統文化とのふれあい、観光スポットへの周遊環境づくり、クール・ジャパンの発信強化、MICE需要獲得、宿泊型観光への誘導等が課題である。
- ・これら課題の解決に資する施設内容等について、以下の4つの観点から整理。
 - (1) 日本の文化・歴史とのふれあい
 - (2) COOL・JAPANの体感
 - (3) MICE需要の取り込み
 - (4) エンターテインメントの充実

(1) 日本の文化・歴史とのふれあい①

主眼

- ターゲットは成田空港を利用する外国人客
- 日本文化・歴史の学び・体験の場を提供
- 外国人向け観光情報・サービス提供拠点の整備

外国人ファン
増加へ

千葉の 特性

- 日本の空の玄関口「成田空港」(外国人旅行客の取り込みへ)
- 由緒ある寺社仏閣、歴史ミュージアム等(紹介・体験ツアー提供へ)

劇場



(1,800席)

- ・能などの日本の伝統芸能公演
- ・地域の祭りや無形文化財等の披露

メイン施設 のイメージ

(劇場施設に併設)

文化体験施設

- ・伝統的日本文化の体験コーナー提供
- ・総合案内機能等も具備

ホテル



(250室)

- 日本庭園等を持つ高級和風旅館

イベント広場



(19,000㎡)

- ・オープンマーケットの開催
- ・工芸品等の小売り

(1) 日本の文化・歴史とのふれあい②

メリット

- 大きな経済効果をもたらす
- 外国人が日本文化のファンとなることにつながる

デメリット

- 地域における新たなインフラ整備が必要となる
- 生活環境悪化や、地元商店からの顧客の流出の恐れがある

[課題]

- ・「和」を基調とした施設にふさわしい環境を有する適地をいかに選定するか
- ・収益に直結しない施設併設の場合、施設全体としていかに収益を確保するか
- ・外国人旅行客受入れにあたり、いかにサービス対応力を向上していくか

経済効果

類似施設からの想定

劇場・文化体験施設 約130億円
イベント広場 約46億円
ホテル(約250室・客単価約3万円) 約50億円 等

【参考】

想定される主な建設投資額: 劇場 約110億円、ホテル 約230億円
(ただし、ホテルの日本庭園部分を除く。)

(2) COOL・JAPANの体感①

主眼

- 外国人観光客向けクールジャパン
- マンガ、アニメ等のミュージアム施設を設置
- 関連グッズの展示・販売、コンテンツ系の体験

クールジャパンの推進へ

千葉の特性

- 日本の空の玄関口「成田空港」(外国人旅行客へクールジャパン発信)
- 首都圏近接(市場として有望)

ミュージアム

- ・アニメ等のコンテンツ展示・紹介
- ・工房体験
- ・アフレコ体験



(7,000m²)

メイン施設のイメージ

(アトラクション施設に併設)

ショップ

- ・アニメグッズ、コスプレ衣装、フィギュア等の販売
- ・外国語翻訳の作品販売



ホテル

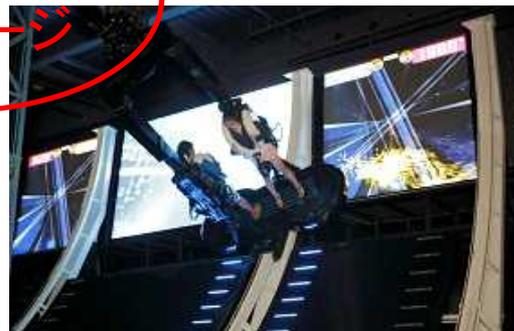
ファミリー層をターゲットとした中級タイプ



(700室)

アトラクション

- ・屋内型アトラクション(最新技術・VR等)
- ・各種タイプのゲーム体験



(69,000m²)

(2) COOL・JAPANの体感②

メリット

- 大きな経済効果をもたらす
- 外国人に対する日本文化の紹介(→クールジャパンの推進)

デメリット

- 地域における新たなインフラ整備が必要となる
- 生活環境悪化や、地元商店からの顧客の流出の恐れがある

[課題]

- ・紹介、展示する作品の著作権に関する取り扱いをいかにクリアにするか
- ・各施設のハード・ソフトの更新について、いかにコスト負担とバランスを取るか

経済効果

類似施設からの
想定

ミュージアム・ショップ 約50億円
アトラクション 約27億円
ホテル(約700室・客単価約8千円) 約19億円 等

【参考】

想定される主な建設投資額:ミュージアム 約40億円、アトラクション 約190億円
ホテル 約210億円

(3) MICE需要の取り込み①

主眼

- 経済波及効果が大きいMICE需要の獲得を狙う
- 国内外に大きなインパクト与える施設を建設
- 複合的な施設建設により集客力向上

MICE機能
強化・魅力向上

千葉の 特性

- 多岐にわたる多くの観光資源との連携強化(MICE需要の獲得へ)
- 首都圏近接(富裕層の市場として有望)

展示場

国内外のMICE
目的来場者を
取り込む



(32,000m²)

国際会議場

国内外のMICE
目的来場者を
取り込む



(20,000m²)

メイン施設
のイメージ

ホテル

MICE利用客を
取り込む大型
高級ホテル



(700室)

商業施設

- ・物販、飲食等のショッピングモール
- ・有名ブランドを集積



(300店舗、74,000m²)

(3) MICE需要の取り込み②

メリット

- 大きな経済効果をもたらす
- 国際会議や展示会の誘致が進み大量の集客効果をもたらす

デメリット

- 地域における新たなインフラ整備が必要となる
- 生活環境悪化や、地元商店からの顧客の流出の恐れがある

[課題]

- ・収益に直結しない施設併設の場合、施設全体としていかに収益を確保するか
- ・周辺の既存施設との連携等について、地域といかに調整するか

経済効果

類似施設からの
の想定

国際会議場・展示場 約110億円
商業施設 約980億円
ホテル(約2,500室・客単価約2.7万円) 約360億円 等

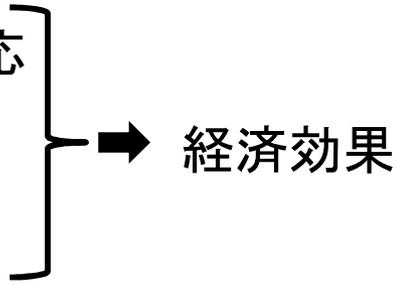
【参考】

想定される主な建設投資額: 展示場・国際会議場 約820億円
商業施設 約210億円、ホテル 約1,100億円

(4) エンターテインメントの充実①

主眼

- 集客力アップのため来場者ニーズに幅広く対応
- 宿泊型観光の促進
- 社交の場としての新たな娯楽を提供



千葉の特性

- 夜も楽しめる非日常空間(エンターテイメント)を提供(昼夜楽しく過ごす)
- 首都圏近接(国内外の需要を見込める)

カジノ



- ・社交場の雰囲気醸成
- ・IR全体の収益確保

(大規模 : 15,000㎡)
(中規模 : 3,000㎡)



劇場

- ・エンターテイメントを演出
- ・ミュージカル、コンサートを公演

(大規模 : 4,000席)
(中規模 : 1,500席)

ホテル



- ・社交場にふさわしい高級ホテル

(大規模 : 2,500室)
(中規模 : 500室)

メイン施設のイメージ



商業施設

- ・物販、飲食等のショッピングモール
- ・有名ブランドを集積

(大規模 : 300店舗)
(中規模 : 200店舗)

(4) エンターテインメントの充実②

メリット

- 複合施設ができることで集客力向上に貢献
- カジノ事業に関する税収増が見込める

デメリット

- 生活環境悪化の恐れがある
- ギャンブル依存症等の社会コストへの対応が必要となる

[課題]

- ・カジノ設置に伴うさまざまな負の影響について、いかに対応していくか
- ・カジノを含む大型複合施設と地域とが、いかに連携していくか

経済効果 (類似施設からの想定)	大規模パターン	中規模パターン
カジノ	約2,300億円	約460億円
劇場等	約78億円	約24億円
商業施設	約980億円	約653億円
ホテル	約360億円 〔約2,500室 客単価約2.7万円〕	約70億円 〔約500室 客単価約2.7万円〕
【参考】 想定される主な 建設投資額	カジノ 約160億円 劇場 約250億円 商業施設 約210億円 ホテル 約1,100億円	カジノ 約30億円 劇場 約100億円 商業施設 約140億円 ホテル 約220億円

最後に

本調査では I R 導入に向けて自治体で取り組むべき事項や本県の特徴を生かした I R のパターン等について検討を行った。

海外の I R の事例をみると、経済効果がある一方、負の影響への対応も進められていることから、今後 I R 導入を検討するにあたっては、経済効果や課題等を整理し地域住民との合意形成を図ることが重要である。

また、I R 施設設置にあたっては地域の特性や課題を踏まえたうえで具体的な I R 施設のイメージを構想することが重要であるため、成田空港を有する強みを生かした具体的な I R 施設のイメージを提示した。

各市町村においては、地域の特性等を踏まえつつ本調査で示した I R の各パターンを適宜組み合わせるなど、本調査報告書を有効に活用されたい。